

## 『Dr. 長澤印 輸液・水電解質ドリル』 正誤表

このたびは『Dr. 長澤印 輸液・水電解質ドリル』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2023年11月21日作成 2026年5月14日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	p.24 上から2行目	体液量正常, 体液量減少, 体液量正常の3つに分けて…	体液量 <b>過剰</b> , 体液量減少, 体液量正常の3つに分けて…	2025/10/21
1	p.31 下から1行目	… $\beta_2$ 刺激薬が低K血症の治療に使われる…	… $\beta_2$ 刺激薬が <b>高</b> K血症の治療に使われる…	2026/5/14
1	p.39 Learning Point 4, 6, 8, 11行目	…高K血症を来す原因…	…… <b>低</b> K血症を来す原因…	2023/11/21
1	p.180 下から 2, 5, 7, 8行目	…高K血症を来す原因…	…… <b>低</b> K血症を来す原因…	2023/11/21

